

2023年商議員フォーラム

2023年12月2日(土)

I. 商議員会 14:00~16:00

於：大隈記念講堂
司会：三浦総務部長

1. 開 会
2. 会 長 挨 拶 …………… 亀 井 会 長
3. 総 長 挨 拶 …………… 田 中 総 長
4. 学 事 報 告 …………… 松 本 常 任 理 事
「不断の入試改革 ～多様で優秀な学生の獲得に向けて～」
5. 募金関係の報告とお願い …………… 齋 藤 副 総 長
6. 質 疑 応 答
7. 閉 会

II. 懇親会 16:30~17:30

於：リーガロイヤルホテル東京
3F ロイヤルホール
司会：三浦総務部長

1. 開 会
2. 乾 杯
3. 懇 談
4. 応援部パフォーマンス
5. 閉 会

以 上

<2024年度開催日程>

2024年 7月6日(土)：商 議 員 会

2024年12月7日(土)：商議員フォーラム

学事報告

不断の入試改革 ～多様で優秀な学生の獲得に向けて～

常任理事（入試、高大接続、広報部門統括）
松本 直樹

WASEDA VISION 150 AND BEYOND

世界で輝くWASEDA

2040年には日本で、2050年にはアジアで最も学びたい大学になる

● 3本の柱

研究の早稲田

世界を牽引する
最先端研究

教育の早稲田

学修効果の高い
文理一体の総合教育

貢献の早稲田

研究・教育を通じた
グローバルリーダーの育成

● 価値観の共有

世界トップクラスの大学になるという決意と覚悟
優秀な人材の採用 ～自分より優れた”世界で評価される”教職員を～

● 早稲田で育む3つの力

ひびきあう理性

他者と相互に学問を高めあう力

たくましい知性

正解のない課題に挑む力




しなやかな感性

多様な価値観を理解する力

大学院

学部



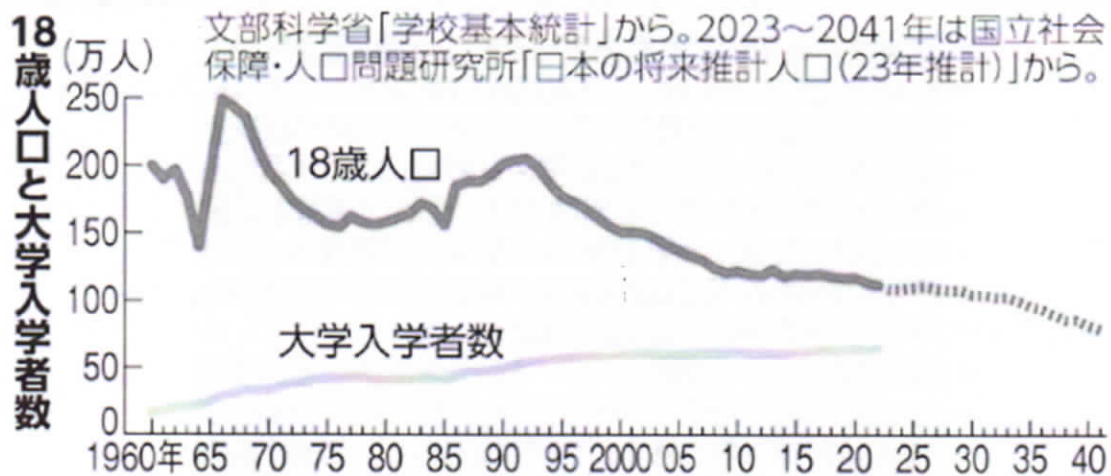
01 .本学の入試、一都三県外学生の入学状況

02 .多様性の確保に向けて

03 .不断の入試改革とその成果（途中経過）



01 .本学の入試、一都三県外学生の入学状況



18歳人口と大学入学者数

朝日新聞デジタル (<https://www.asahi.com/articles/photo/AS20230926000269.html>)

WASEDA University

主な入試制度

▶ 一般選抜

早稲田大学へ来て試験を受ける入試
独自試験、英語4技能テスト利用、共通テスト併用がある

▶ 共通テスト利用入試

早稲田大学へ来る必要がない入試
共通テストの成績のみ、または書類選考を加えて合否判定

▶ 総合型選抜

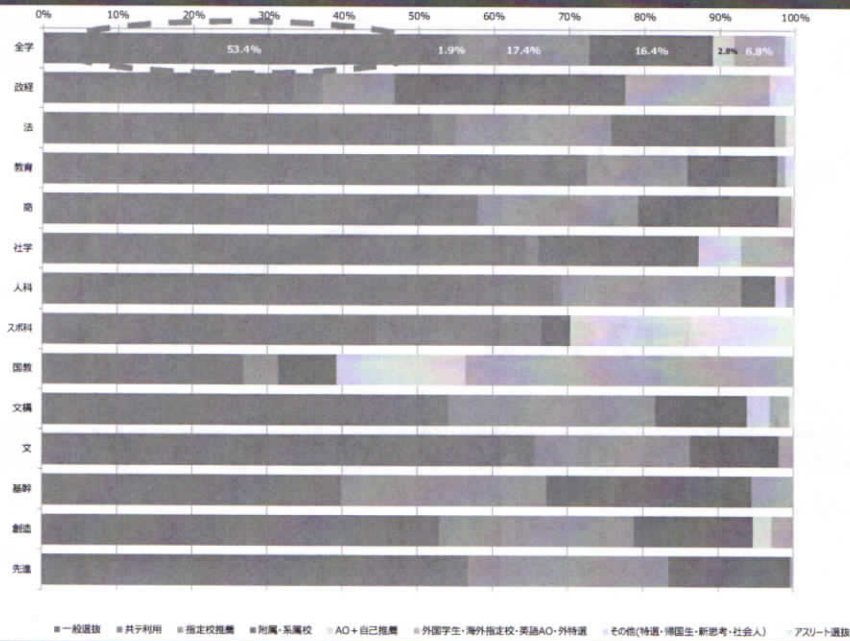
志願者の能力を総合的に評価する入試
書類、筆記、面接等を組み合わせて合否判定

▶ 学校推薦型選抜

学校長からの推薦が必要となる入試
本学では指定校推薦と附属校・系属校推薦が該当

WASEDA University

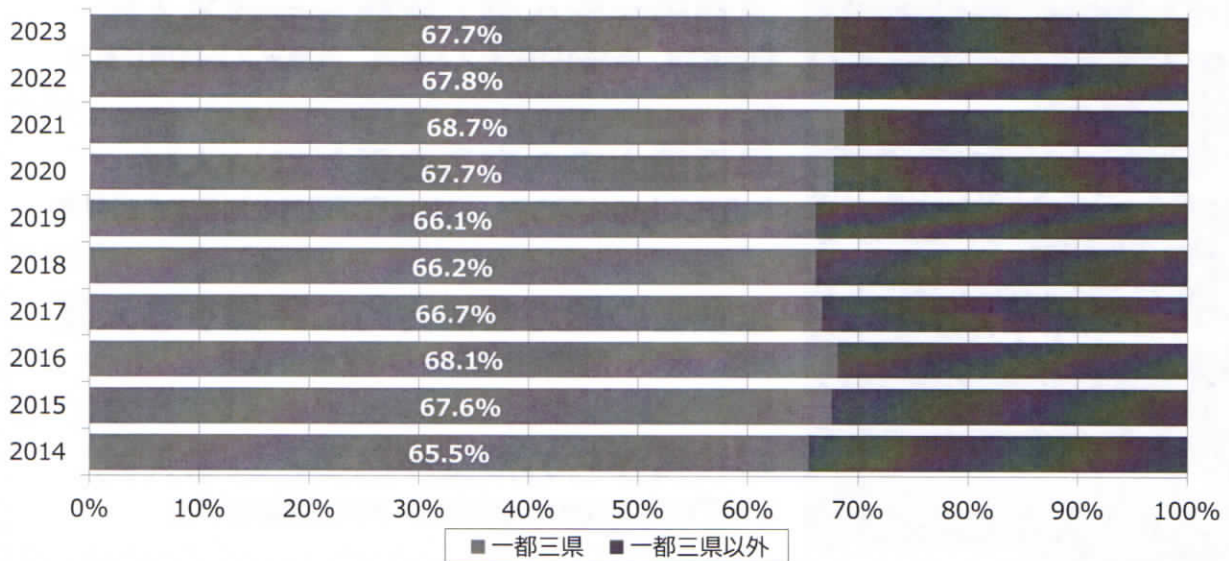
学部別・入学区分別 入学者構成比（2023年度4月+9月入学者計）



7

首都圏総入学者数占有率の推移（全学部）

一都三県総入学者数占有率の推移（全学部）



8

「俺の頃の早稲田は、
地方出身者が
7割だった。」

「俺の頃の早稲田は、地方出身者が7割だった。」

「俺の頃の早稲田は、地方出身者が7割だった。」

こんな話をよく聞く。実は誤解である。

戦後間もない1950年の時点で、関東出身者が約6割を占めている。

43 第二章 膨張する学苑

第五表 出身地方別学生数とその比率(明治16—昭和55年)

()内は%

地 方	明治16年在籍者	大正9年卒業生	昭和10年卒業生	昭和25年入学者	昭和40年入学者	昭和55年入学者
北海道	1(0.5)	29(2.2)	66(2.8)	143(2.8)	186(2.0)	150(1.7)
東北	19(8.9)	90(6.9)	188(8.0)	267(5.1)	376(4.1)	392(4.6)
関東	51(23.8)	356(27.3)	749(31.8)	3,081(59.3)	5,498(59.6)	4,876(56.8)
中部	62(29.0)	226(17.3)	412(17.5)	704(13.6)	1,286(13.9)	1,285(15.0)
近畿	22(10.3)	181(13.9)	277(11.7)	188(3.6)	612(6.6)	653(7.6)
中国	23(10.7)	145(11.1)	215(9.1)	241(4.6)	438(4.8)	427(5.0)
四国	4(1.9)	60(4.6)	91(3.9)	125(2.4)	267(2.9)	224(2.6)
九州	32(15.0)	162(12.4)	288(12.2)	431(8.3)	553(6.0)	565(6.6)
その他	0(0.0)	56(4.3)	72(3.1)	13(0.3)	4(0.0)	2(0.0)
計	214(100.1)	1,305(100.0)	2,358(100.1)	5,193(100.0)	9,220(99.9)	8,574(99.9)

備考 「その他」は大正9—昭和25年は「外地」、昭和40年以降は「沖縄」である。

(『東京専門学校年報』24頁、『早稲田学報』昭和25年6月発行 第602号 26頁)
(同誌 昭和40年9—11月発行 第754—756号、『基本諸統計』昭和55年度版より作成)

出典：早稲田大学百年史第5巻 (https://chronicle100.waseda.jp/viewer.php?img_name=5_0081.jpg)

10

「俺の頃の早稲田は、地方出身者が7割だった。」

戦後間もない1950年になると出身地方別比率は大きく変化し、
関東地方出身者は60%近くになった。

これは、東京が戦災に遭って住宅事情や食糧事情が悪化し、
勉学のため子女を上京させることが経済的にも困難であったためと思われるが、
以後、関東地方出身者の比率は戦前の水準に逆戻りせず、過半を占め続けた。

1982年の東京都出身者は2,032人で、26%に達している。

その背景には、大企業の東京集中、東京と地方との所得格差、
住居費に典型的に見られる東京での生計費高騰があった。

出典：早稲田大学百年史第5巻 (https://chronicle100.waseda.jp/viewer.php?img_name=5_0081.jpg)

11

「俺の頃の早稲田は、地方出身者が7割だった。」

ちなみに1965年の県別一人当たり平均所得は、全国平均を100とすると、
最高額の東京都が183.7、最低額の鹿児島県が62.8であり、
2.9倍以上の格差が存在したのである。

新制大学が全国各地で増え、国立大学が地域大学化し、東京大学を除く旧帝国大学には
その所在地周辺府県の高등학교の生徒しか受験しなくなる状況の中で、
学苑において関東地方以外の出身者の比率が40%台を維持し続けたのは
むしろ特筆すべきことと考えられるかもしれないが、反面、早稲田が従来持っていた
泥臭さ、多様性、いわゆる「早稲田らしさ」を喪失する結果を伴った。

出典：早稲田大学百年史第5巻 (https://chronicle100.waseda.jp/viewer.php?img_name=5_0081.jpg)

12

02 .多様性の確保に向けて



世界から早稲田へ 早稲田から世界へ

世界中から
集まる留学生

- ① 8,300人を超える外国人学生
- ② 121の国や地域から集まる留学生と共に学ぶ

特色ある
留学プログラム

- ① 年間約4,600人の学生が留学へ
- ② 91の国・地域、848の大学・機関とのネットワーク



WASEDA University

奨学金制度

POINT

返済不要の
学内奨学金が
約150種類

- ① 延べ**14,000**人に
92億円を交付
- ② 入試前予約採用型の
奨学金も設置

WASEDA University

奨学金制度

めざせ！都の西北奨学金

入試前予約採用で学部に応じ
毎年**45/65/70**万円を給付

- ① **返済不要**で、
給付は原則4年間継続
- ② 国の修学支援制度受給者にも
10~20万円を給付
- ③ 採用候補者数 **1,200**人

WASEDA University

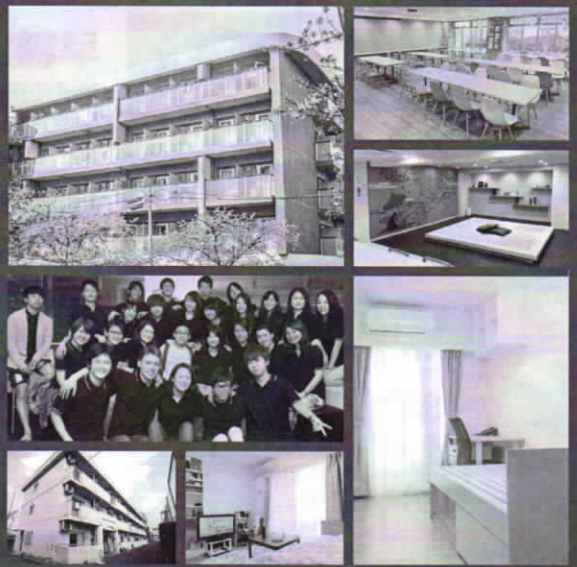
学生寮・住まい

20以上の学生寮を用意

- 留学生と共に生活する環境
- 安心のセキュリティ
- 先輩寮生によるサポート

大学関連会社での住まい探し

- 早稲田生向け物件を多く取り扱い

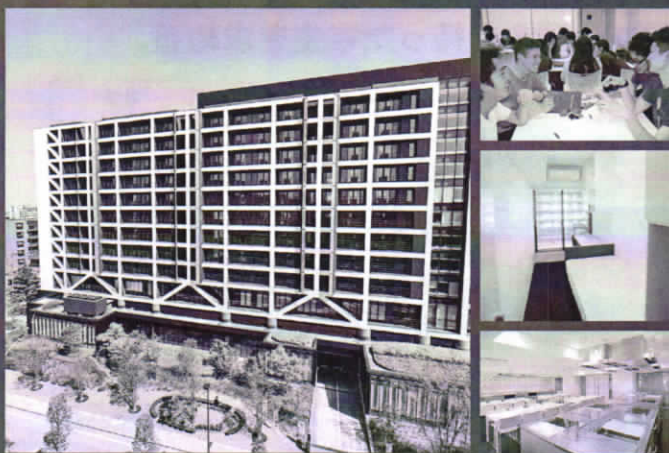


WASEDA University

17

学生寮・住まい

国際学生寮WISH



- 寮での学び
"Social Intelligence (SI) プログラム"

- 個室×4人一組の
ユニット制

- 寮費は
月額55,000円

WASEDA University

18

主な入試制度

▶ 一般選抜

早稲田大学へ来て試験を受ける入試
独自試験、英語4技能テスト利用、共通テスト併用がある

▶ 共通テスト利用入試

早稲田大学へ来る必要がない入試
共通テストの成績のみ、または書類選考を加えて合否判定

▶ 総合型選抜

志願者の能力を総合的に評価する入試
書類、筆記、面接等を組み合わせて合否判定

▶ 学校推薦型選抜

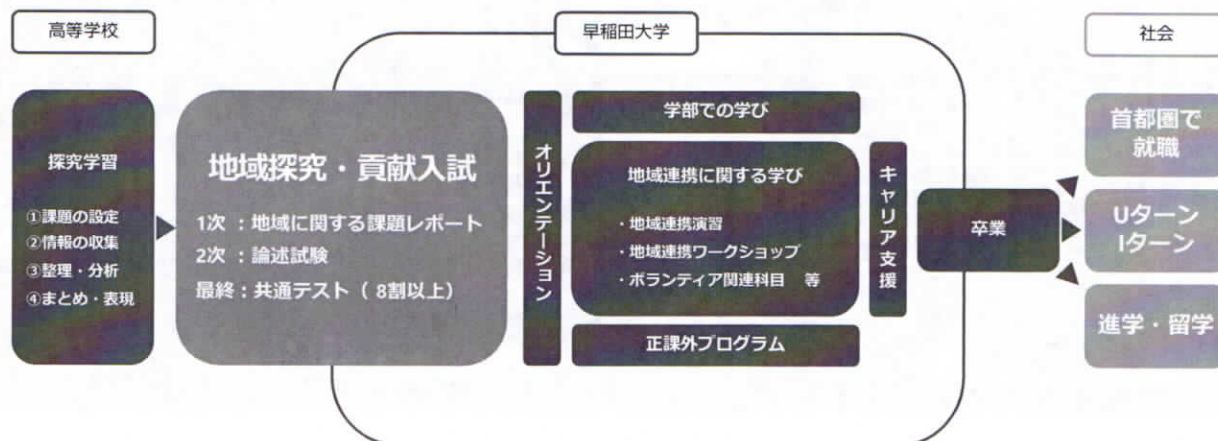
学校長からの推薦が必要となる入試
本学では指定校推薦と附属校・系属校推薦が該当

WASEDA University

高大接続型入試制度「地域探究・貢献入試」

2018年度入試より導入。2024年度に「新思考入試」から名称変更。

- ・ 大学入学共通テストを選考に用いる、学力型の総合型選抜。
- ・ 社会的・文化的・学術的に地域へ貢献する意識を持った学生を求める。



20

2023年度入試の入試結果

※入学案内 p.222

	法	商	文化 構想	文	人間 科学	スポーツ 科学	合計
志願者	48	48	87	20	21	18	242
第1次選考 合格	36	34	53	13	11	13	160
第2次選考 合格	12	6	18	5	4	3	48
最終選考 合格	6	3	5	0	1	1	16

※2024年度入試も同様の制度で、引き続き6学部にて実施（それぞれ若干名の枠）

21

主な入試制度

▶ 一般選抜

早稲田大学へ来て試験を受ける入試

独自試験、英語4技能テスト利用、共通テスト併用がある

▶ 共通テスト利用入試

早稲田大学へ来る必要がない入試

共通テストの成績のみ、または書類選考を加えて合否判定

▶ 総合型選抜

志願者の能力を総合的に評価する入試

書類、筆記、面接等を組み合わせて合否判定

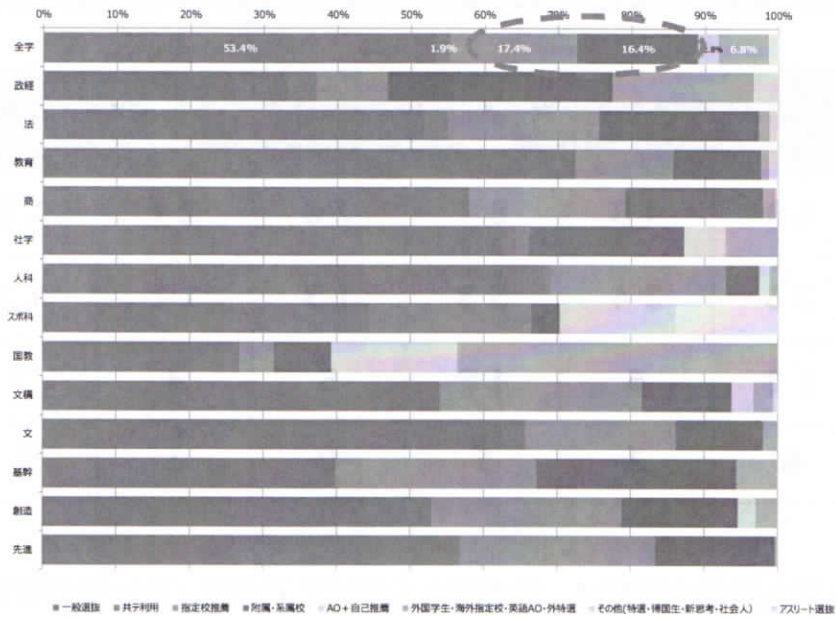
▶ 学校推薦型選抜

学校長からの推薦が必要となる入試

本学では指定校推薦と附属校・系属校推薦が該当

WASEDA University

学部別・入学区分別 入学者構成比 (2023年度4月+9月入学者計)



WASEDA University

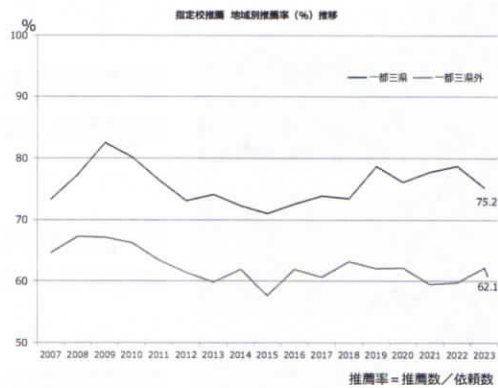
指定校推薦の状況

全体

	依頼_計	推薦_計	推薦/依頼
2023年	2331	1570	67.4%
2022年	2353	1583	67.3%
対前年増減率	99%	99%	

地域別

	依頼_計	推薦_計	推薦/依頼
一部三県	929	699	75.2%
一部三県外	1402	871	62.1%



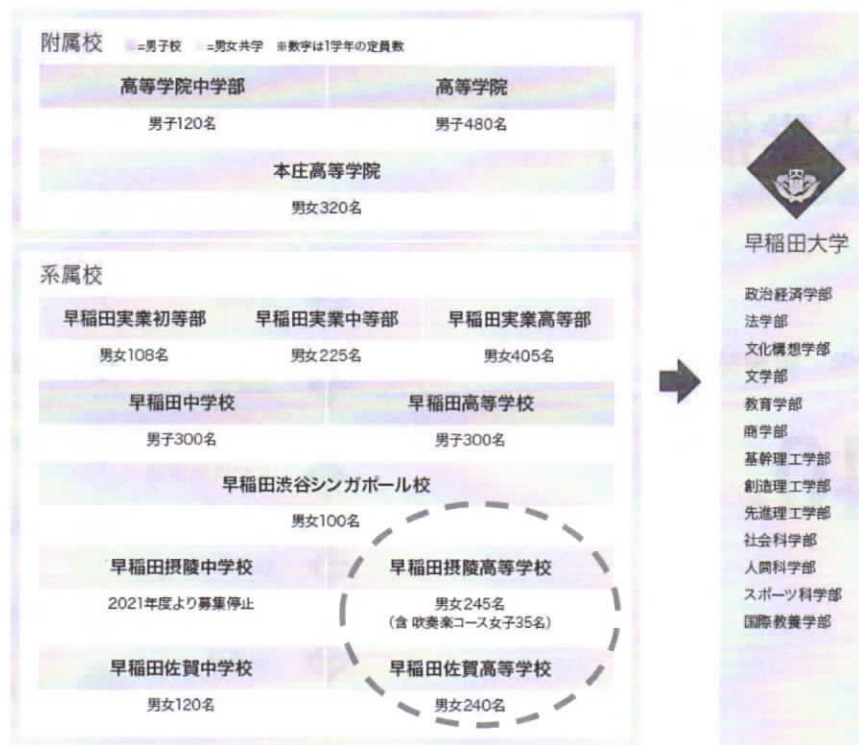
依頼人数_一部三県比率



推薦人数_一部三県比率



WASEDA University



WASEDA University









早稲田大学推薦枠

13学部から各3枠の推薦枠

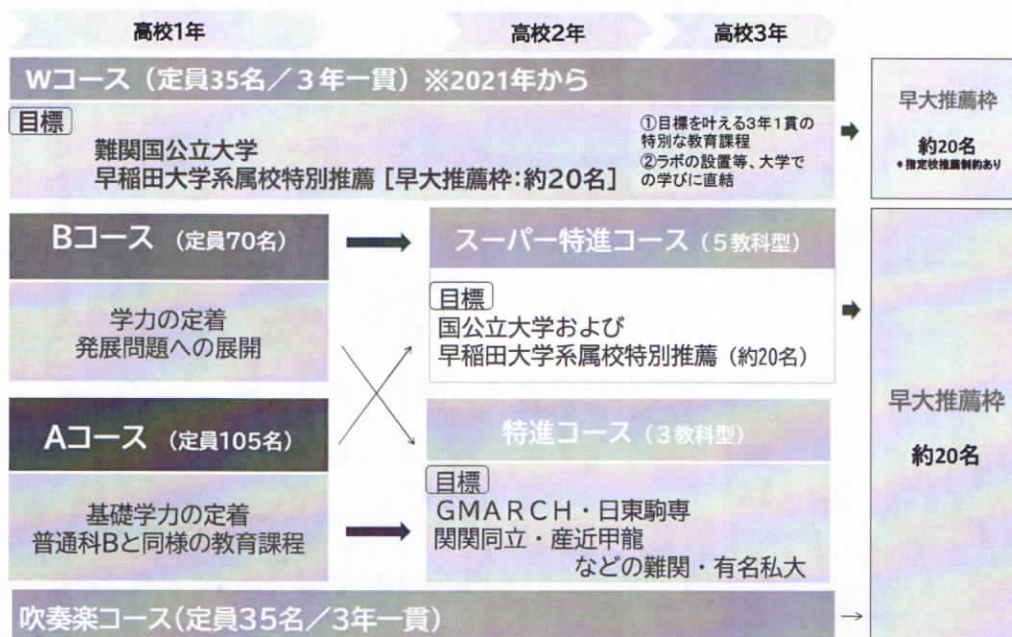
早稲田大学 推薦枠

約 **40** 名

- | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
|  政治経済学部 |  基幹理工学部 |
|  法学部 |  創造理工学部 |
|  文学部 |  先進理工学部 |
|  文化構想学部 |  社会科学部 |
|  教育学部 |  人間科学部 |
|  商学部 |  スポーツ科学部 |
| |  国際教養学部 |

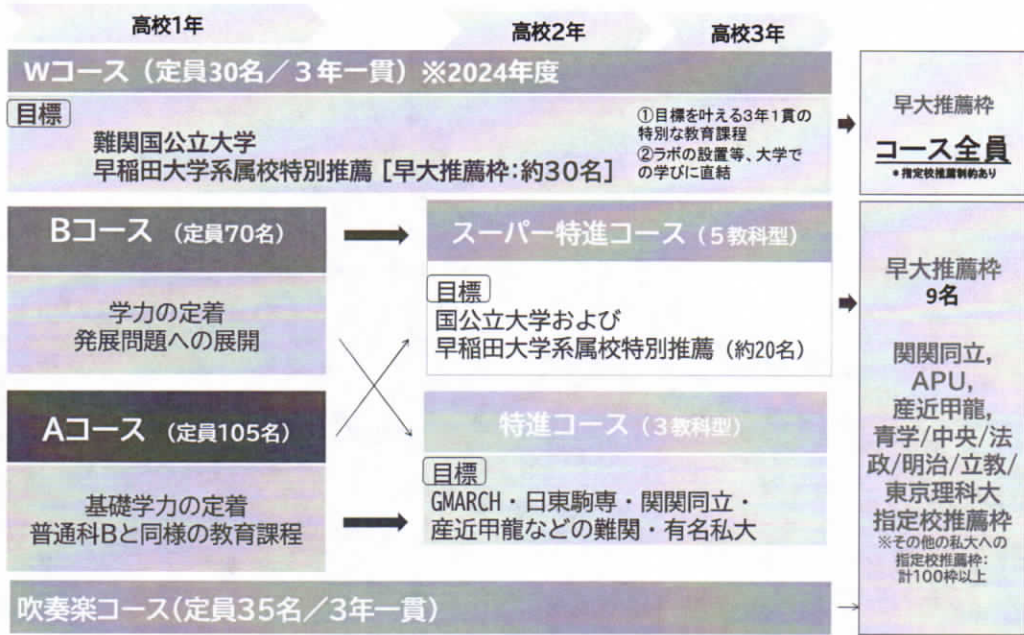
WASEDA University

早稲田摂陵高等学校 コース概要（2021-2023年度入学者迄）



WASEDA University

早稲田摂陵高等学校 コース概要（2024年度入学者【確定済】）



WASEDA University

知に触れる

早稲田大学の各学部の教授による特別講義

環境問題を経済学で解決：カーボンプライシングによる脱炭素

民法（契約法）を学ぶ「アイドル恋愛禁止」判決から

「社会」とは、「社会学」とは何か

時間をサイエンスする

人の生命・生活に寄り添う人間支援ロボット技術の最新動向

労働法とは

微生物がつくる世界：身の回りの世界と宇宙の世界

ポジティブ心理学を活かした目標の実現

Anthropology and Human Rights: Respect for Diversity in a Globalized World

①数字で見る組織運営

②心理的仕組みと認知のゆがみ－意思決定に対する影響を考える－

政治経済

法学

文学

教育

理工

社会科学

人間科学

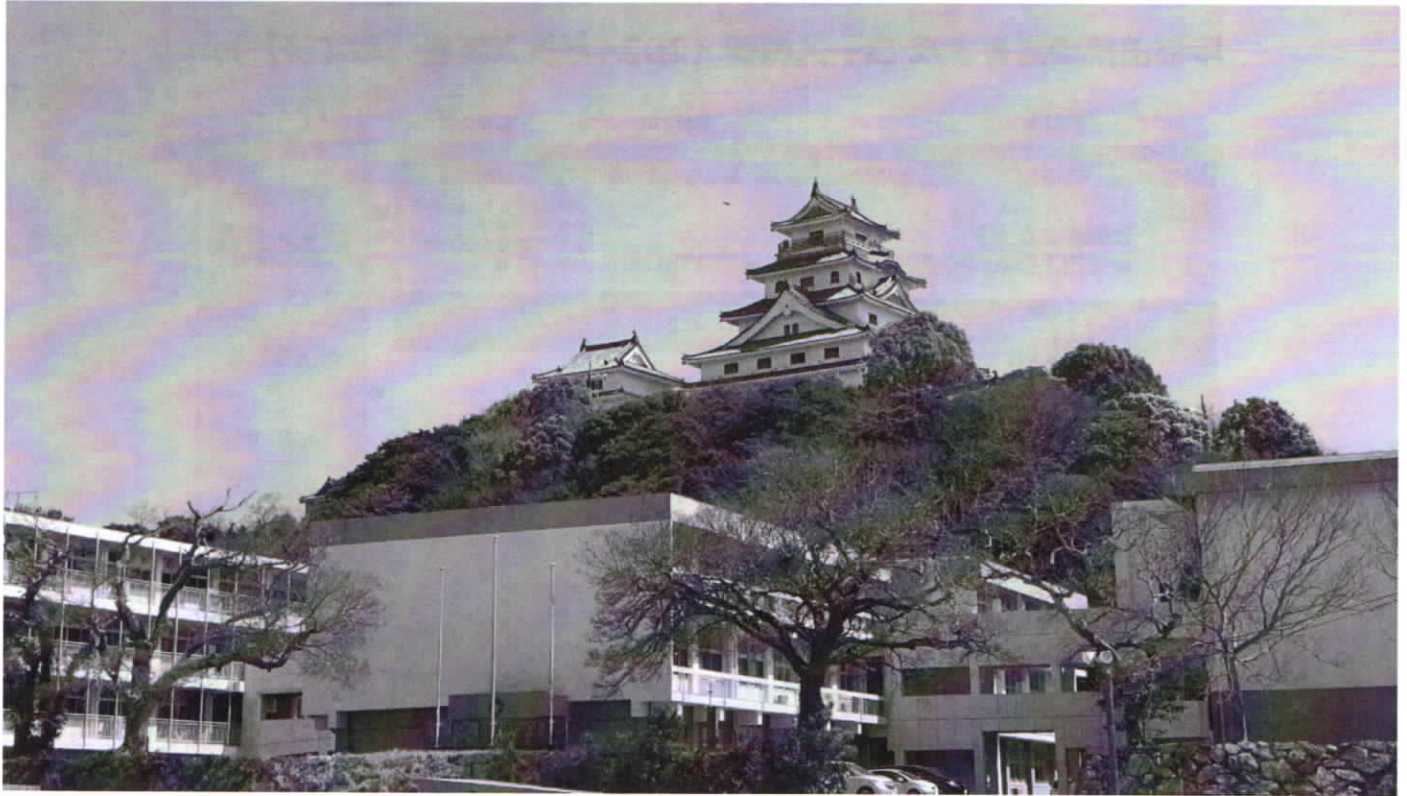
スポーツ科学

国際

商学



WASEDA University



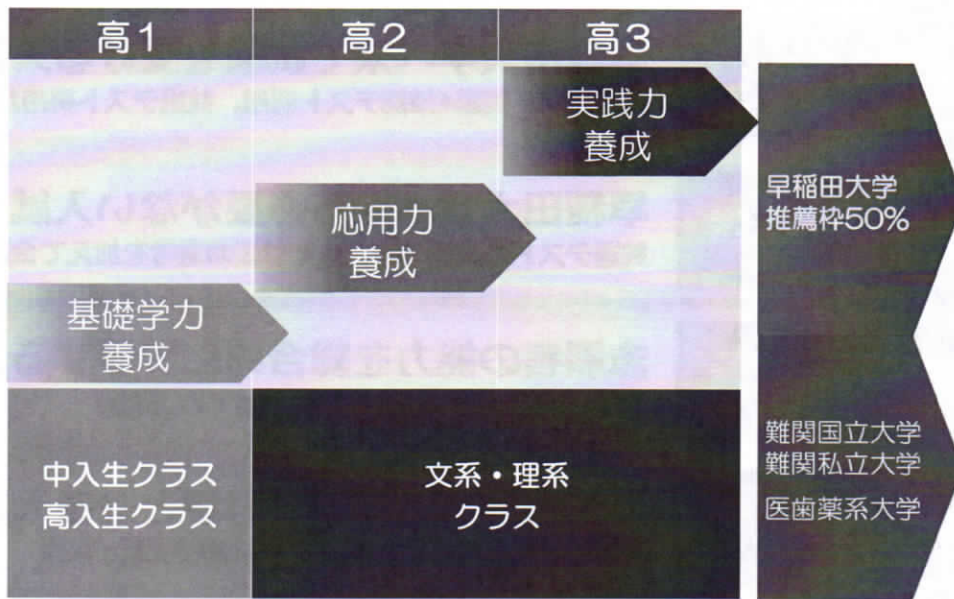
充実した英語教育

- Native Teacher 授業
- TOEFL ITP (校内実施)
- 英検受験の推奨
- 多彩な留学制度・海外研修
〈2023年度 高校1年生の予定〉
 - ◎ターム留学 1月～3月：オーストラリア (希望者)
 - ◎進級留学 1年間：進学先は各自で決定 (希望者)
- New Zealandオーダーメイド留学





高校からの入学生の教育展開



03 . 不断の入試改革とその成果 (途中経過)



主な入試制度

▶ 一般選抜

早稲田大学へ来て試験を受ける入試
独自試験、英語4技能テスト利用、共通テスト併用がある

▶ 共通テスト利用入試

早稲田大学へ来る必要がない入試
共通テストの成績のみ、または書類選考を加えて合否判定

▶ 総合型選抜

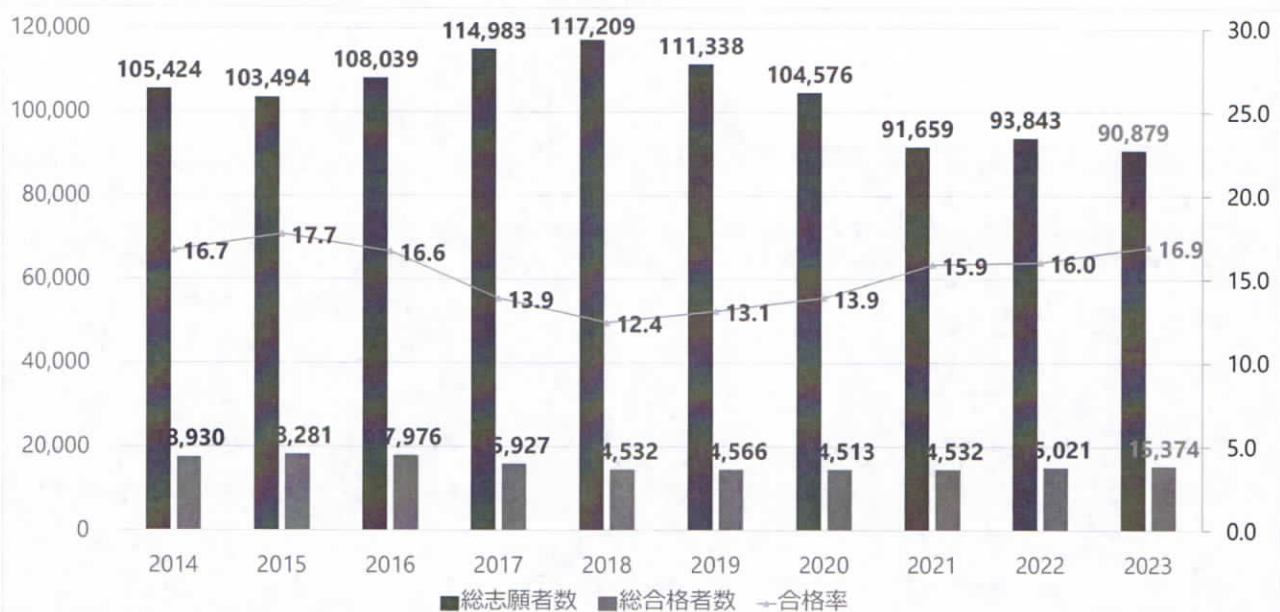
志願者の能力を総合的に評価する入試
書類、筆記、面接等を組み合わせて合否判定

▶ 学校推薦型選抜

学校長からの推薦が必要となる入試
本学では指定校推薦と附属校・系属校推薦が該当

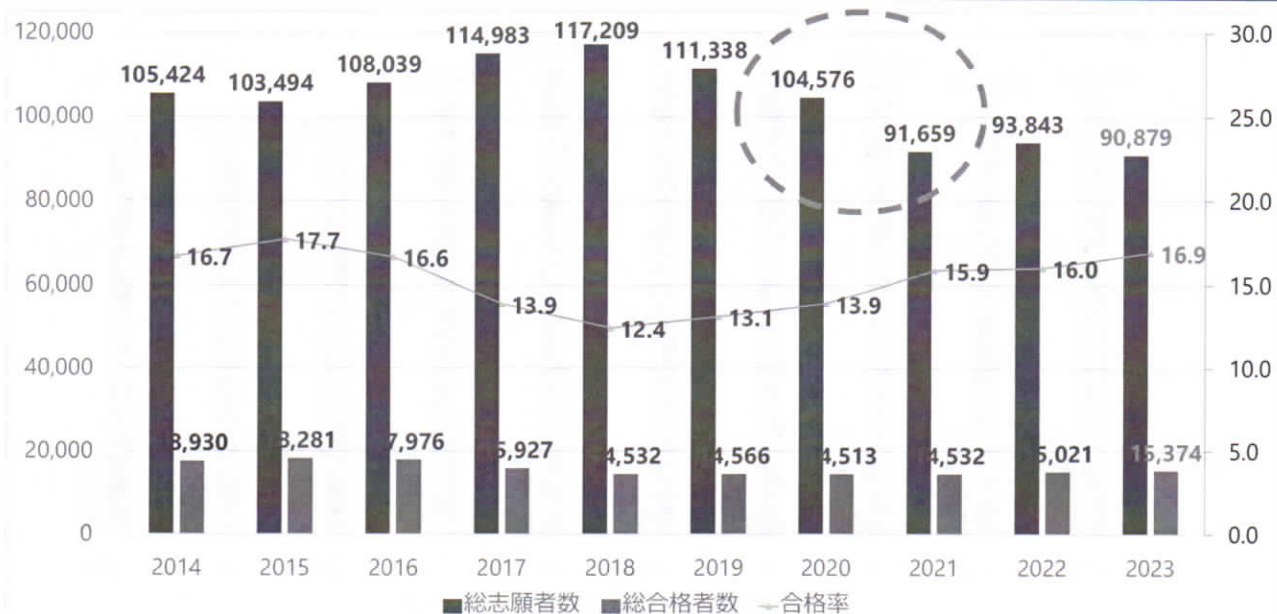
WASEDA University

一般選抜 + 共通テスト利用入試 総志願者数・総合格者数・合格率の推移



36

一般選抜＋共通テスト利用入試 総志願者数・総合格者数・合格率の推移



37

2021年度入試改革のポイント

政治経済
国際教養
スポーツ科学

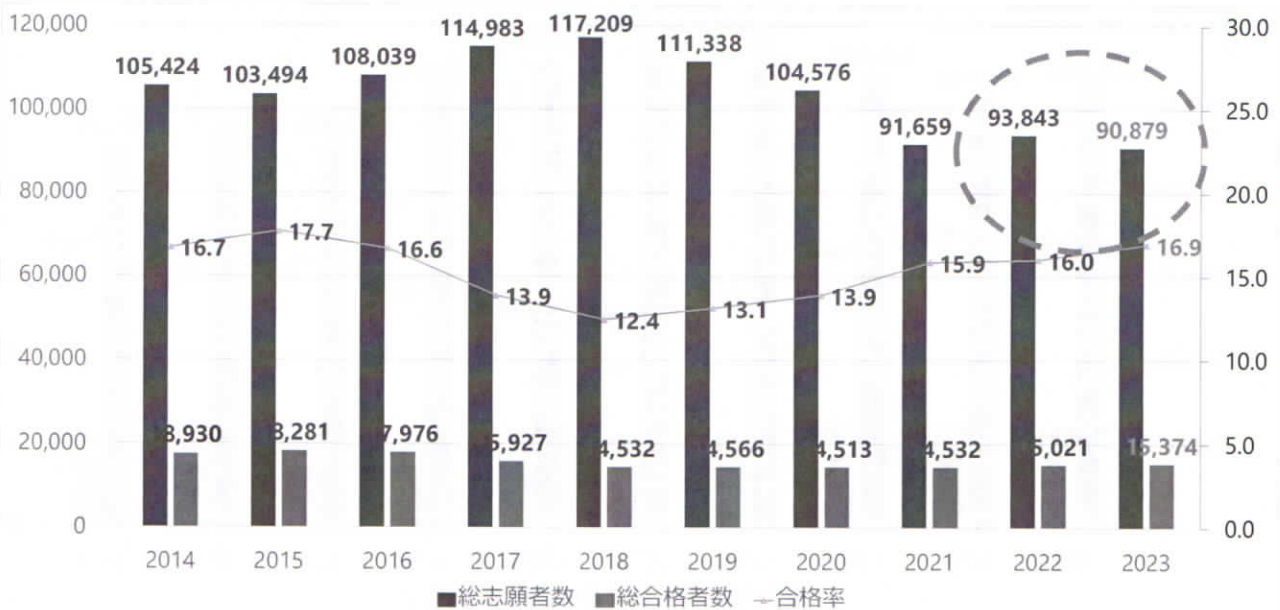
一般選抜を
「共通テスト」＋「学部独自試験」
で選抜する方式に変更

商
国際教養
文化構想
文

大学入学共通テスト利用入試
(共通テストのスコアのみで合否判定する方式)
を廃止

38

一般選抜＋共通テスト利用入試 総志願者数・総合格者数・合格率の推移



39

2023年度入試改革のポイント

教育

一般選抜に
「学部独自試験のみ」方式を残した上で、
「共通テスト」＋「学部独自試験」方式を新設

A方式 独自試験3教科（文科系：外国語＋国語＋地歴・公民）

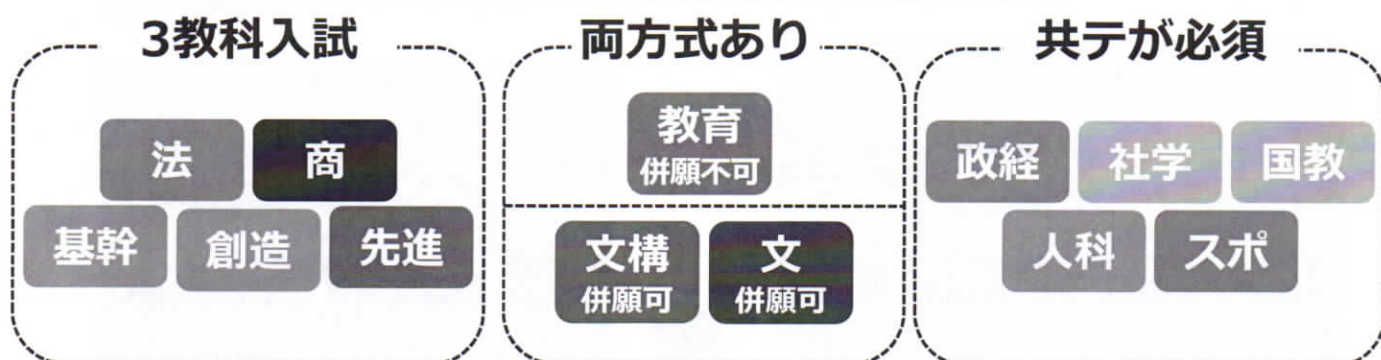
B方式 独自試験3教科（理科系：外国語＋数学＋理科）

C方式【新制度】 共通テスト5教科＋独自試験

D方式【新制度】 共通テスト3教科＋独自試験

40

2025年度には・・・



- ① 2025年度から、**社会科学部と人間科学部**が新たに共テ必須化
- ② 3教科入試と共テが必須の方式で**ちょうど半分ずつ**のイメージ

偏差値で、私学トップの座を奪還！

【早慶】
2019～2023年度
偏差値一覧
(週間ダイヤモンド記事より)

大学名	学部名	偏差値				
		2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
早稲田	政治経済	81	83	82	84	80
慶應	経済	79	83	81	83	81
慶應	法	80	83	82	83	82
早稲田	法	80	83	81	83	80
早稲田	商	78	82	80	82	80
慶應	商	77	80	80	81	79
早稲田	社会科学	78	80	79	82	79
慶應	総合政策	80	83	81	83	80

1勝だった早稲田が7勝に！

【早慶】同系統学部W合格時の進学率（週間ダイヤモンド記事より）

印は勝利サイド

2023年度			
	早稲田	慶應	
政治経済	71.4%	28.6%	法
政治経済	52.2%	47.8%	経済
法	31.3%	68.8%	法
商	68.8%	31.3%	商
文	63.6%	36.4%	文
文化構想	68.8%	31.3%	文
基幹理工	56.3%	43.8%	理工
創造理工	50.0%	50.0%	理工
先進理工	57.1%	42.9%	理工



2018年度			
	早稲田	慶應	
政治経済	28.6%	71.4%	法
政治経済	44.4%	55.6%	経済
法	13.3%	86.7%	法
商	28.6%	71.4%	商
文	17.6%	82.4%	文
文化構想	35.0%	65.0%	文
基幹理工	42.3%	57.7%	理工
創造理工	38.9%	61.1%	理工
先進理工	54.2%	45.8%	理工

43

偏差値トップに

◆ 2023年度の偏差値

◆ 早稲田・政経 81 vs. 慶應・経済 79

◆ 早稲田・政経 81 vs. 慶應・法 80

◆ 早稲田・法 80 vs. 慶應・法 80

◆ 早稲田・商 78 vs. 慶應・商 77

◆ 2023年度入試の早慶の双方合格者の進学先

◆ 早稲田・政経 71.4% vs. 慶應・法 28.6%

◆ 商、文、文化構想なども早稲田約70% vs. 慶應 30%

◆ こんなことで、喜んでいては、ダメですね！

44

Interview

**入試の数学必須化で慶應超え
最も学ぶ価値ある大学になる**

田中愛治 ● 早稲田大学総長

看板学部・政治経済学部の入試で数学の必須化という改革を断行した早稲田大学。それが功を奏して、データによっては慶應義塾大学と逆転した。次なる目標を田中愛治総長に聞いた。

デメリットもある中、政治経済学部の入試改革を断行した理由は何ですか。日本社会の大きな問題であるデジタル化の遅れと関係しています。この理由は、高校や大学で文系と理系を明確に分けて教育していることと、さらに元をたどれば、今の受験勉強が原因です。受験勉強を最大目標としている高校教育が間違っているし、それを強いてきたのは私立大学の大学入試制度だと考えています。

また、多くの大学には入学後もリベラルアーツ教育がなく、文系と理系の両方を学ぶ仕組みがありません。その結果、就職後も「人事担当だから」とか「エンジニア出身だから」と自分自身を「文系」「理系」と明確に分けてしまう。それが世界的な企業と比較した際の差を生むと思うのです。

ある大手電機メーカーの人事部長がこう言っていました。「文系学部出身の社員に、OJ（OJ: On the Job Training）でエビデンスベースでのデータ分析のプレゼンテーションを習得させているが、できるのは相対手前。欧米ではCEOになる人もいる年齢で、新卒入社時にエビデンスベースで議論ができる文系人

たなか・あいじ 1975年早稲田大学政治経済学部卒業。81年米オハイオ州立大学大学院政治学専攻・修士博士コース修了。85年博士号（政治学）取得。98年早大教授、2018年より現職。



週間ダイヤモンド 2022年8月6日・13日合併特大号

WASEDA University

「2021年の早稲田大政経学部の志願者数は前年の71.9%まで落ち込み、当初は『予想通り志願者が減った』といわれていたが、分析してみると、私立大最難関の慶應大法学部よりW合格進学率では優勢になった。

これは志願者数は減ったものの、東京大学をはじめとする難関国立大学の併願先となったこともあるが、本当に早稲田大の政経学部に行きたいと思う受験生が受け、実際に入学したということ。

入試改革の目的がバッチリ当たったといっている



週間ダイヤモンド 2022年8月6日・13日合併特大号

WASEDA University

将来的には・・・

日本経済新聞



「共通テスト、12月に前倒しを」田中愛治・私大連会長
教育岩盤・漂流する入試 識者に聞く

教育岩盤 + フォローする
2022年8月24日 2:00 [会員限定記事]

保存

メール SNS 共有

Think! 多様な視点からニュースを考える

田中愛治さん 他2名の投稿

知識偏重の筆記試験で選抜してきた日本の大学入試が様変わりしている。変化の背景やさらなる改革の方向性などについて有識者にインタビューした。日本私立大学連盟（私大連）会長を務める田中愛治早稲田大総長は大学入学共通テストの実施時期を12月に前倒しして、私立大が利用しやすくすべきだと提言する。

47

大学入学共通テストの利用を広げるべき

- ◆ 大学入学共通テストを1次試験に用いて、基礎学力を確認すれば、2月の一般選抜は正解が一つの問題を早く解かせる試験から脱却できる
⇒ 各大学の各学部が求める考え方ができる学生を選抜すれば良い
- ◆ そのためには、大学入学共通テストを12月初旬に実施すべき
現在の1月中下旬の実施では、私立大学は利用できない
- ◆ 日本の大学の8割が私立大学で、大学生の8割が私立大学生であり、そのうちの7割以上が文系の学生である
私立大学が文理連携・文理横断教育に移行しないと、日本のDXは進展しない

48

(最後に) キャンパスツアー



早稲田大学 早稲田キャンパス キャンパスツアー
Waseda University WASEDA CAMPUS TOUR



現役学生による キャンパス紹介

各キャンパスで実施。
早稲田キャンパスでは個人単位
で定期ツアーが、高校単位で団
体ツアーの申し込みが可能
(上限80名)



大学のいまを、ともに考える。

朝日新聞



Thinkキャンパス

昔のイメージとは大違い？ いま女子高生に人気の大学



早稲田大も女子学生数で全国2位

『大学ランキング2023』を見ると、女子学生の総数では1位日本大学、2位早稲田大学、3位立命館大学と続きます。早稲田大学も明治大学と同じく、かつては男子学生が多いイメージがありました。90年の女子学生数は8524人、女子比率は19.3%（早稲田大学WEBサイトより）でしたが、21年には女子学生数1万4188人、女子比率37.4%と、大きく増えています。保護者としては過去のイメージにとらわれず、今の大学のことを知る必要があります。

<https://www.asahi.com/thinkcampus/article-100319/>

東洋経済
ONLINE

早慶MARCH、女性比率3～5割にグンと伸びた背景 国際系学部では6割超、一方東大は2割程度

■早慶MARCHの女子学生数、女子学生比率の推移

年	早稲田大		慶應義塾大		明治大	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
1954	1,306	5.4	450	4.6	630	3.1
1956	1,433	5.6	642	5.9	666	3.4
1959	1,698	6.2	941	5.6	1,095	3.9
1963	—	—	2,086	9.0	1,280	3.9
1966	3,948	10.4	2,764	11.5	1,917	6.0
1969	3,169	8.7	2,995	12.2	2,145	6.6
1972	3,913	10.6	3,012	12.3	2,546	6.3
1973	4,614	11.4	3,120	12.9	2,880	9.1
1975	5,240	12.7	3,128	13.3	3,165	9.7
1977	5,151	12.7	3,017	13.4	3,183	9.7
1979	—	—	3,189	13.7	2,910	9.4
1984	5,403	13.5	3,827	14.0	3,627	11.2
1985	5,641	14.0	4,082	17.8	3,720	11.7
1989	8,046	18.4	4,791	20.5	4,792	14.5
1991	8,757	20.1	5,760	22.6	5,656	16.5
1993	9,158	21.1	6,618	24.0	6,045	17.9
1995	9,559	22.5	7,173	25.7	6,130	18.8
1998	10,503	24.8	7,663	27.5	6,995	21.6
2000	10,473	25.2	7,983	28.4	6,555	24.1
2002	11,379	27.2	8,483	30.5	7,202	26.4
2004	12,210	29.0	8,774	31.2	7,516	28.0
2006	13,090	30.9	8,874	31.7	7,832	28.7
2008	15,222	33.7	9,295	32.6	8,250	28.9
2010	14,973	34.3	9,332	32.4	8,996	30.0
2012	15,434	35.2	9,404	32.6	9,210	30.9
2014	15,635	36.1	9,898	34.2	9,650	32.3
2016	15,687	37.2	10,247	35.7	10,653	34.4
2018	15,196	37.6	10,532	36.7	10,838	35.3
2020	14,480	37.5	10,619	37.0	10,606	34.9
2022	14,455	38.3	10,355	36.2	10,743	34.1

【産経新聞】(社文社)、「大学ランキング」(朝日新聞出版)、大学案内から作成。
数値は非公表

<https://toyokeizai.net/articles/-/660839> WASEDA University



WASEDA University